

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道介護福祉学校
設置者名	栗山町

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1368 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表する。「学生便覧」 https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	北海道介護福祉学校
設置者名	栗山町

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	北海道介護福祉学校関係者評価委員会
役割	質の高い実践的な職業教育等を実施し、学校運営の改善と充実を目指すため、次の事項を審議する。 ・学校の自己点検評価をもとに専門的かつ客観的評価を実施。 ・評価内容から学校運営の改善提案。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
小学校特別支援教育支援員	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	在学生保護者
社会福祉法人 業務課統括	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	卒業生
社会福祉法人 施設長	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	地域住民
高等学校校長	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	北海道栗山高等学校校長 連携協定校
社会福祉法人 介護主任	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	関係施設職員
社会福祉法人 介護職員	2023. 9. 1 ～ 2025. 3. 31	その他校長が必要と認めるもの
（備考） 平成30年5月15日北海道介護福祉学校関係者評価委員会設置要綱		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道介護福祉学校
設置者名	栗山町

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画は、前年度授業計画及び授業実績を踏まえ、学内（校長及び教務課）において、次年度授業計画編成にあたっての意見交換及び編成方針を確認し、学内教務課で非常勤講師の選任も含めた具体的な授業計画を策定する。 シラバスについては、授業計画に基づき、各教科目担当者に説明を行った上で、各教科目担当者に授業計画案を策定してもらい、内容確認の上、シラバスとして作成している。 作成したシラバスは年度初めのオリエンテーションで学生に配布し、概要を説明。また、各教科目のシラバスについては、年度最初の授業において、担当教員から授業の目標、内容、授業の方法、到達目標、使用テキスト及び評価方法など具体的な説明している。	
授業計画書の公表方法	学生配布説明及びホームページで公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (学則第 13 条関係) 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う、試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 講義において出席日数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 実習は全ての出席を必要とする。 成績評価は次のとおり、A、B、C、D の 4 種を持ってこれを表し、D を不合格とする。 (1) A 80 点以上 (2) B 70 点以上 (3) C 60 点以上 (4) D 59 点以下 (学則第 14 条関係) 試験において不合格の評価を受けた者は、所定の手続きを経て再試験を受けることができる。この場合、再試験に合格した者の成績評価は、B、C の 2 段階とする。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表する。 https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (学則第15条関係) 所定の課程を修了したことについて、卒業認定会議にて、確認し卒業認定をする。所定の課程を修了した者は、専門士(介護福祉専門課程)と称することができる。所定の課程を修了した卒業認定者には、介護福祉士受験資格を与える。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公表する。「学生便覧」 https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道介護福祉学校
設置者名	栗山町

1. 財務諸表等 ※公立専門学校で法人が設置者でないため記載不要

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		介護福祉	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2128 単位時間／単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2128 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		42 人	人	5 人	23 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画は、前年度授業計画及び授業実績を踏まえ、学内（校長及び教務課）において、次年度授業計画編成にあたっての意見交換及び編成方針を確認し、学内教務課で非常勤講師の選任も含めた具体的な授業計画を策定する。 シラバスについては、授業計画に基づき、各教科目担当者に説明を行った上で、各教科目担当者に授業計画案を策定してもらい、内容確認の上、シラバスとして作成している。 作成したシラバスは年度初めのオリエンテーションで学生に配布し、概要を説明。また、各教科目のシラバスについては、年度最初の授業において、担当教員から授業の目標、内容、授業の方法、到達目標、使用テキスト及び評価方法など具体的な説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） （学則第13条関係） 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う、試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 講義において出席日数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 実習は全ての出席を必要とする。

成績評価は次のとおり、A、B、C、Dの4種を持ってこれを表し、Dを不合格とする。 (1) A 80点以上 (2) B 70点以上 (3) C 60点以上 (4) D 59点以下 試験において不合格の評価を受けた者は、所定の手続きを経て再試験を受けることができる。この場合、再試験に合格した者の成績評価は、B、Cの2段階とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) (学則第15条関係) 所定の課程を修了したことについて、卒業認定会議にて、確認し卒業認定をする。 所定の課程を修了した者は、専門士（介護福祉専門課程）と称することができる。 所定の課程を修了した卒業認定者には、介護福祉士受験資格を与える。
学修支援等
(概要) 学級担任制により、細やかな生活指導、学習指導を実施のほか、学校全体として、介護福祉士に必要な学修支援を実施。また、就職指導担当教員及び大学等への編入学指導担当教員を配置している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	1人 (4%)	22人 (96%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等			
(就職指導内容) 担任及び就職指導教員による面談、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にし、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、レクリエーションインストラクター、普通救命講習Ⅱ修了			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	1人	2.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、学校長による面談、相談。保護者との連携。進路変更の場合の個別支援。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
介護福祉 学科	150,000 円	390,000 円	400,000 円	入学金：A0 出願者及び栗山町民は 50,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公表 https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 質の高い実践的な職業教育等を実施す、学校運営の改善と充実を目指すため、次の事項を審議する。 ・学校の自己点検評価をもとに専門的かつ客観的評価を実施。 ・評価内容から学校運営の改善提案。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
小学校特別支援教育支援員	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ 在学生保護者
社会福祉法人 業務課統括	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ 卒業生
社会福祉法人 施設長	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ 地域住民
高等学校校長	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ 北海道栗山高等学校 校長（連携協定校）
社会福祉法人 介護主任	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ 関係施設職員
社会福祉法人 介護職員	2023. 9. 1 2025. 3. 31	～ その他校長が必要と 認めるもの
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公表 https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/kaigofukushi/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H101242900019
学校名（〇〇大学 等）	北海道介護福祉学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	栗山町長

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		18人	15人	18人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				18人
（備考） 前半期→後半期△3人（退学1人、休学2人）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	1人
3月以上の停学	0人
年間計	1人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

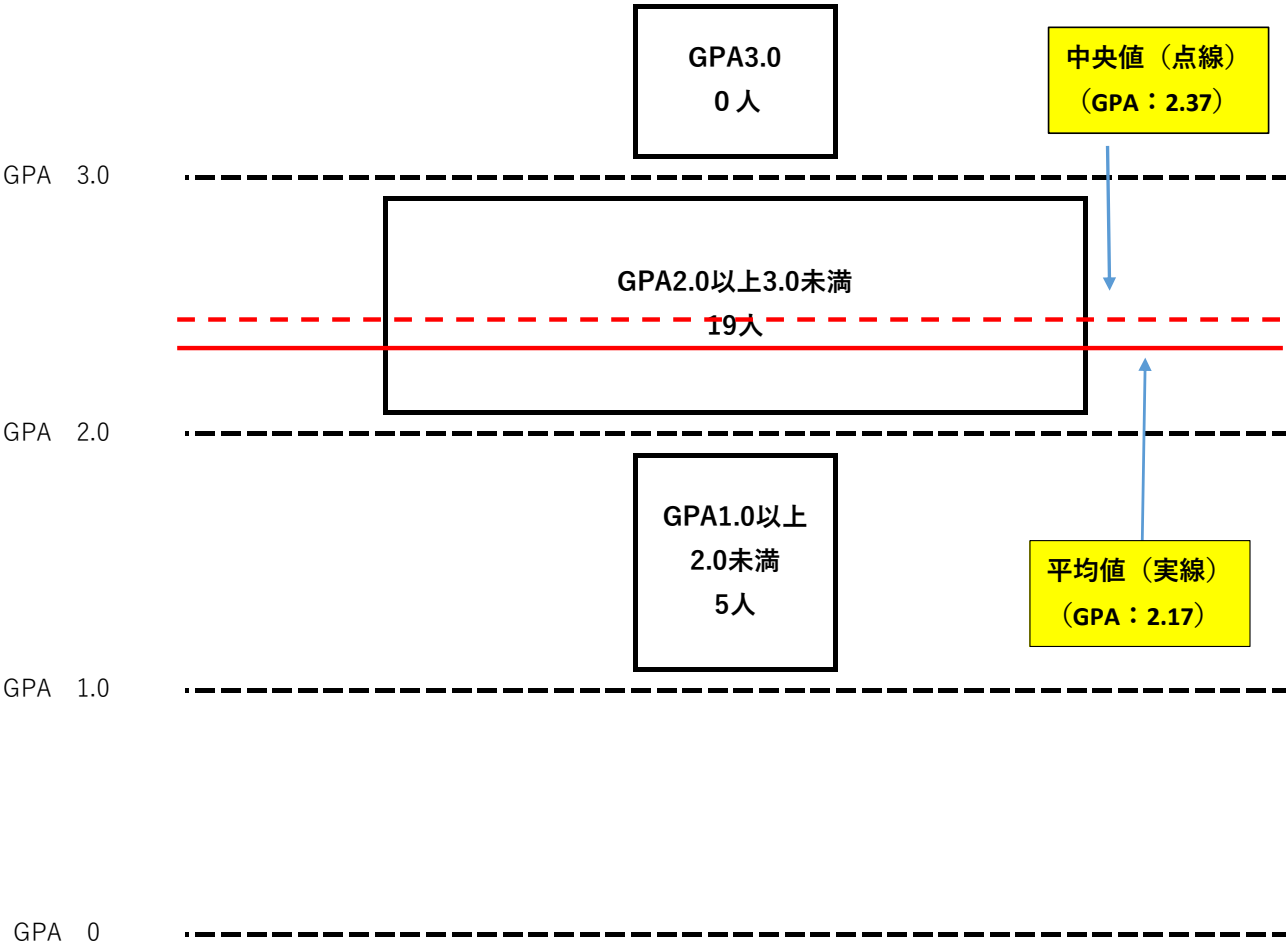
※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表(介護福祉学科)

北海道介護福祉学校

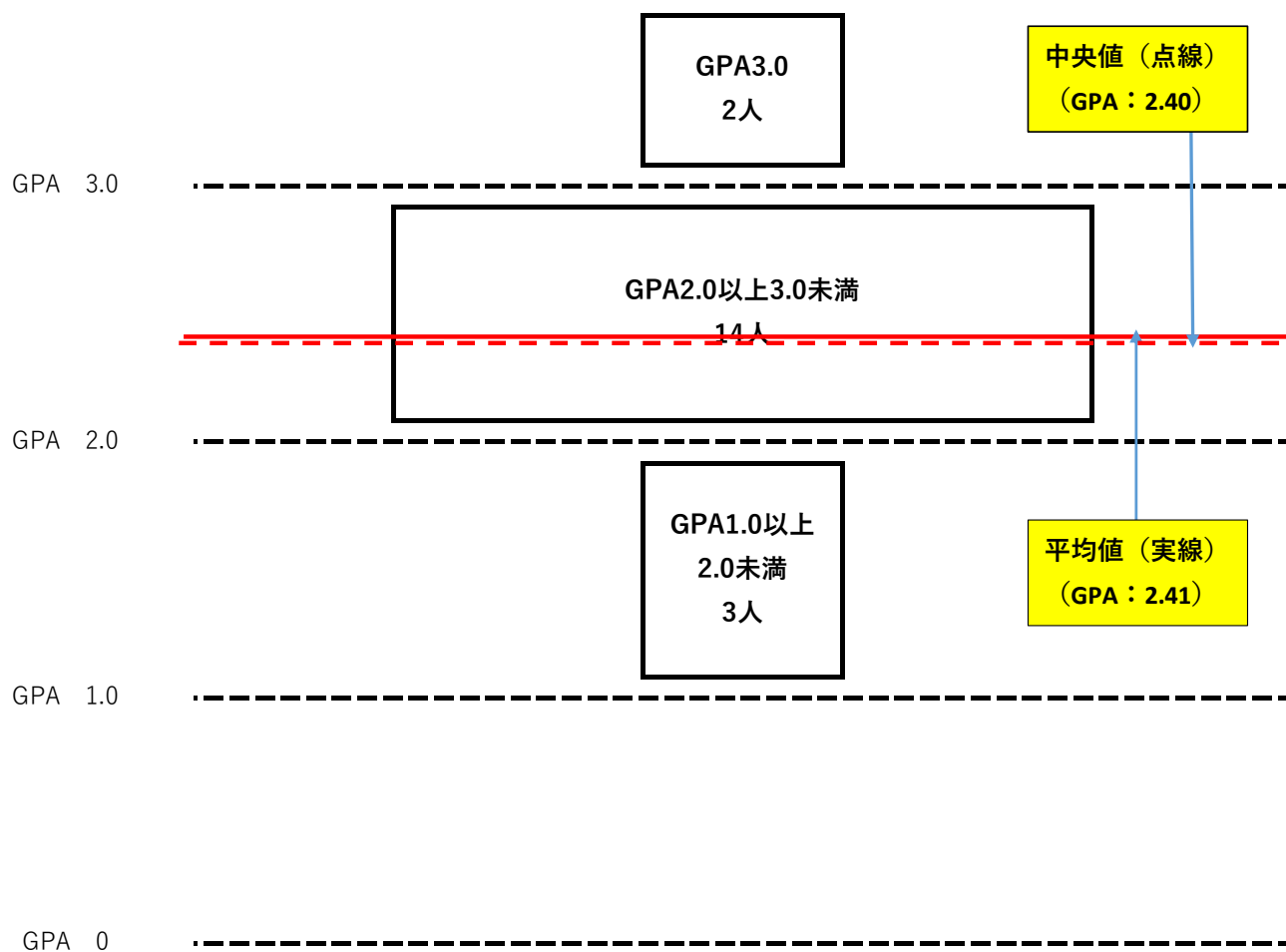
区分	授業科目	2年コース		1年	2年	担当教員		備考
		履修法	時間	時間	時間			
人間と社会	人間の尊厳と自立	講義	30	30		非常勤講師	目黒 紀美代	社会福祉士・介護支援専門員 認定社会福祉士制度 スーパーバイザー登録 社会福祉事務所 空(Kuu)
	地域福祉と支援体制	講義	30	30		非常勤講師	冬野 大希	青森大学社会学部社会学科卒 社会福祉法人 栗山町社会福祉協議会 福祉活動専門員
	児童家庭福祉論	講義	30		30	非常勤講師	齊藤 雅章	北海道大学大学院教育学院修了 元 北海道室蘭児童相談所長 札幌すきな園 統括施設長
介護	介護の基本Ⅰ	講義	120	120		専任教員	藤田 秀剛	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 東京福祉大学社会福祉学部卒 特別養護老人ホームこふし 介護主任 学校法人西野学園 教員 平成13年4月～ 専任教員
						非常勤講師	木下 浩志	東北福祉大学 総合福祉学部社会教育学科卒 千歳市在宅医療・介護連携支援センター センター長 株式会社MCL 取締役/副社長
	介護の基本Ⅱ	講義	30		30	非常勤講師	石山 輝一	北海道文教大学人間科学部理学療法学科卒 北海道社会福祉事業団福祉村 保健課主査
	介護の基本Ⅲ	講義	30		30	非常勤講師	保坂 昌知	東北福祉大学社会福祉学部卒 社会福祉法人藤の園 月形藤の園 園長(特養・養護)
	コミュニケーション技術	講義	60	60		専任教員	藤田 秀剛	
						非常勤講師	高橋 梨嘉	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 特別養護老人ホーム静苑ホーム介護職員
	生活支援技術Ⅰ	講義・演習	80	80		専任教員	藤田 秀剛	
						非常勤講師	田中 裕子	北海道立旭川高等看護学院助産婦科卒 元 江別市立病院産婦人科 助産師 元 北海道大学医学部保健学科看護学専攻 非常勤講師 元 北海道介護福祉学校専任教員
						非常勤講師	清野 なつみ	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 介護老人保健施設ゆあみーる 看護介護課主任
	生活支援技術Ⅱ	講義・演習	150	150		専任教員	鈴木 敦子	北海道立衛生学院看護婦科卒 特別養護老人ホーム清楓園 看護課長 平成20年4月～ 専任教員
						専任教員	藤田 秀剛	
						専任教員	鈴木 恵美	北海道立旭川高等看護学院保健師科卒 柏崎市国民健康保険野田診療所 外来看護師 竹内内科循環器科 外来看護師 令和4年4月～ 専任教員
						非常勤講師	小川 温子	福山女学園大学生活科学部食品栄養学科卒 元 味の素ニュートリション(株) 元 味の素(株)ウェルネス事業部 (株)メディカルシステムネットワーク薬局事業本部サプリーダー
						非常勤講師	小菅ルミ子	名寄女子短期大学卒 元 栗山赤十字病院 元 栗山町役場 岩見沢市保健センター
						非常勤講師	田中 裕子	
						非常勤講師	齋藤 直美	小樽看護専門学校卒 特別養護老人ホーム(ひだまり)大森 施設長
						専任教員	藤田 秀剛	
	生活支援技術Ⅲ	講義・演習	70	70		専任教員	鈴木 敦子	
						非常勤講師	藤田 隆博	札幌医療福祉専門学校卒 元 苫小牧市立病院 栗山町発達サポートセンター(言語聴覚士)
						非常勤講師	大山 香織	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 北海道社会福祉事業団福祉村 生活支援部西棟支援課主査
						非常勤講師	田中 裕子	
						非常勤講師	橋本 達志	北星学園大学文学部社会福祉学科卒 北星学園大学大学院社会福祉学専攻修士課程修了 元就労継続支援B型 コリカ・プロダクション管理者 日本医療大学総合福祉学部ソーシャルワーク学科助教
	介護過程Ⅰ	講義・演習	110	110		専任教員	藤田 秀剛	
						専任教員	鈴木 敦子	
						専任教員	鈴木 恵美	
	介護過程Ⅱ	講義・演習	40	40		専任教員	藤田 秀剛	
						専任教員	鈴木 敦子	
	介護総合演習Ⅰ	講義・演習	60	60		専任教員	藤田 秀剛	
						専任教員	鈴木 敦子	
	介護総合演習Ⅱ	講義・演習	60	60		専任教員	藤田 秀剛	
						専任教員	鈴木 敦子	
						専任教員	鈴木 恵美	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅱ	講義	30	30		専任教員	鈴木 恵美	
	認知症の理解Ⅰ	講義	44	44		非常勤講師	干場 有理子	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 社会福祉法人札幌慈恵会 慈恵会特別養護老人ホーム介護課長
	認知症の理解Ⅱ	講義	16		16	非常勤講師	干場 有理子	
	障害の理解Ⅰ	講義	30	30		非常勤講師	高橋 銀司	北海道介護福祉学校介護福祉学科卒 北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科卒 北星学園大学大学院修士課程修了 一般社団法人福祉システム北海道 代表理事 日本医療大学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科助教
						非常勤講師	橋本 達志	
	からだのしくみの理解Ⅰ	講義	52	52		非常勤講師	梶 良行	東京医科大学卒 札幌整形外科医院 院長
	からだのしくみの理解Ⅱ	講義	28	28		非常勤講師	田中 裕子	
	からだのしくみの理解Ⅲ	講義	20		20	専任教員	鈴木 恵美	
医療的ケア	医療的ケア(喀痰吸引等)	講義・演習	68		68	専任教員 非常勤講師	鈴木 敦子・鈴木 恵美 田中 裕子	
その他	キャリア形成支援講座	講義	40	10	30	専任教員	悪七 尚広	東北福祉大学大学院修士課程修了 北電町永楽園 業務主幹 平成26年4月～ 専任教員 令和3年4月～ 校長
						非常勤講師	木下 浩志	
	情報処理	講義	20	20		非常勤講師	村上 渉	東海大学工学部土木部工学科卒 モック・システム(有) 代表取締役
	地域活動研究	講義・演習	30		30	専任教員	鈴木 敦子・藤田 秀剛 鈴木 恵美	
	レクリエーション活動	講義・演習	60	30	30	非常勤講師	寺腰 一美	類似看護専門学校非常勤講師 (保健体育科・レクリエーション指導) 北海道レクリエーション協会組織強化委員長
合 計			1,368	884	484			

GPA（Grade Point Average）の数値の分布状況（単位：人）



下位4分の1：GPA2.15以下（6名）

GPA（Grade Point Average）の数値の分布状況（単位：人）



下位4分の1：GPA2.11以下（5名）